

令和2年度 入札監視委員会議事概要

北海道防衛局・帯広防衛支局

北海道防衛局第1・第2会議室

開催日及び場所	令和3年3月8日(月)	北海道防衛局第1・第2会議室
委員	阿座上 洋吉(経営学者) 大浦 崇志(公認会計士) 神谷 奈保子(大学客員教授) 菊地 均(大学名誉教授) 津田 秀太郎(弁護士)	(50音順)

防衛省発注機関が締結する契約(建設工事等を除く。)に関する審議

審議対象期間	令和2年1月1日 ~ 令和2年12月31日	
審議対象件数	140件	
1. 入札状況について(入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)		
抽出件数	3件	(審議概要) 1 契約状況の説明 2 抽出事案の概要説明 3 抽出事案の審議
一般競争契約	3件	
指名競争契約	0件	
随意契約	0件	
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p><b>①北海道防衛局(2) 矢臼別演習場 周辺移転措置事業に伴う測量並びに立木及び建物等調査業務</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 応札者のうち1者が辞退したが、その理由について伺う。</li> <li>・ 当該業務は特殊な調査内容なのか。また、これまで同種の業務を実施した実績はあるか。</li> <li>・ 調査基準価格の意義と算定方法をご教示願いたい。</li> <li>・ 積算内訳では、「その他原価」については率をもって算出しているが、応札者の見積と比較しても妥当な率か。また、請負者のどういった費用を想定した経費か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 辞退者に聞き取ったところ、地積や植生量が不明だったため、会社で検討したが、見積もることができなかった、とのことだった。</li> <li>・ 特殊な内容ではない。また、当該演習場周辺における移転措置事業は、申請が少ないことから、当課に残る資料では、同種の業務実績を確認できなかった。</li> <li>・ 予定価格が1,000万円以上の事業に対して、それ以下の入札価格では当該契約の品質に合った履行がなされないなどの恐れがあると認められる場合の基準額であって、予定価格に率を乗じるなどして算定している。</li> <li>・ 所管機関が実態調査に基づいて導出したもので、当局もそれを使用して予定価格を算定している。なお、応札者は応札時の判断で額を計上しており、今回の内訳では算定結果未満で、算定結果と近似した額が計上されていた。また、想定する経費は当該受注業務を担当する事務職員の人件費及び福利厚生費、水道光熱費等である。</li> </ul>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p><b>②令和2年度矢臼別演習場周辺地区 施肥業務</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去の当該契約の入札状況を見ると、同一業者のみが落札している事情について、どのように分析しているか。</li> <li>・施肥業務は、受注者のみが実施できる内容の業務なのか。</li> <li>・使用する単価は毎回、見直しているのか。また、単価に変動性があるのか。</li> <li>・単価は公表されたものを使っているのか。又は見積を採用しているのか。</li> <li>・運搬費より、肥料の購入費の方が業務費に占める割合が大きい。肥料の購入と施肥（搬入・散布）業務を分割して発注することは可能なものか。</li> <li>・今後も同じ業者による応札・落札が続くことになるかもしれないが、それは致し方ないという見立てか。</li> </ul> <p><b>③令和2年度航空自衛隊三沢基地網走分屯基地用地立木調査業務</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予定価格と契約額がこれほどかい離した理由について、分析されているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専用重機が多数使用されており、現地までの自走が困難な重機であることから、運搬費用が多く計上される業務と推測される。このため、施工現場から近い業者に有利な状況が考えられる。</li> <li>また、当支局の施肥業務の公告時期は、北海道の草地整備事業の入札が終了している時期であり、当方の施肥業務を施工可能な業者が既に他の業務を抱えている状況が推測され、これらの状況から、同一業者が落札していると考えられる。</li> <li>・平成31年度は3者が応札していることから、受注者だけが実施可能な内容の業務ではないと考えている。</li> <li>・単価については、毎年度、見直しており、変動性がある。</li> <li>・概ね公表されている単価を使用しているが、肥料の一部については、公表されている単価がないため見積もりを採用している。</li> <li>・分割は可能と考えるが、分割することで経費が上昇し、不経済になることが考えられる。</li> <li>・当方も同じく注視している。</li> <li>よって、入札公告を掲示した際には、本業務を実施できそうな業者に声をかけるとともに、公告期間を延ばすなどして、新規参入を図る予定である。</li> <li>・国有林内における立木調査なので、国有林業務に精通している技術者を擁する業者であれば、知識・経験に基づき入札額の低減が可能だったと考えられる。</li> </ul>

	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p>・低価格による履行品質には問題ないのか。</p> <p>・発注者の積算と応札者の内訳において、例えば現場作業にかかる人件費が、発注者の見立てより小さくて済む、又は、発注者は算式で経費を算定したところ、応札者は経費を要さず実施できる業務である、などの分析は可能か。</p> <p>・見立てのとおりと考える。については、現場作業も回答のとおりであることを、例えばヒアリングで確認できると、基準と実態の乖離を説明しやすくなる。</p>	<p>・請負者に対しては、落札後、履行体制を確認するとともに、履行期間中にも適時、遂行状況を確認している。</p> <p>・先述のとおり、国有林の配置・経路に精通した技術者を擁する業者にとっては、移動・従事する時間が短くて済む、といった低減に繋がっていると考える。</p>
委員会による意見の具申又は勧告の内容	・なし	
2. 談合疑義案件の処理状況について		
談合疑義件数	0件	(審議概要) ・なし
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	意見・質問 ・なし	回答
委員会による意見の具申又は勧告の内容	・なし	
3. 再苦情処理（再説明請求回答）		
再苦情申立件数 (再説明請求件数)	0件	(審議概要) ・なし
一般競争契約	0件	
指名競争契約	0件	
随意契約	0件	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	意見・質問 ・なし	回答
委員会による意見の具申又は勧告の内容	・なし	